

ぽえ犬通信

第2号

2003年5月15日
発行:cocoroom

ぽえ犬が歩くと 詩がウマレル
ぽえ犬の行くところに 詩がはじまる
ぽえ犬が連れてくるのは 世界の笑顔の「コトバ」

特集 ぽえ犬わんココルームオープニング 上田假奈代 朗読CD第3弾レコ発ライブ あなたの上にも同じ空が

羽が風をおこすように、扉がひらく
たいてい羽は背中についている
つみ重ねてきた時間が
そつと背中を押して
風をまきつけて、はばたく

はじまりの扉は、とつぜん
目の前でひらくのではなく
歩いてきた背中
見えない羽がかすかな音をたてて
ちいさな風を起こして
ゆつくりと、扉をひらいていく

ココルームの羽は
あなたの上にも同じ空が
風を運べるだろうか
03年5月31日
ココから扉はひらきます

COCOROOM

■ぽえ犬わん
5月31日(土)
19:00open 19:30start
¥3800 (CD付)
COCOROOMオープニングパーティ
+上田假奈代レコ発ライブ
「あなたの上にも同じ空が」
ゲスト:つき山いくよ
後援:キリンビール
お問合せ:info@kanayo-net.com



ふらんすに行きたいと思ってみたら しのめ
窓をあけて ページをめくって 地下鉄に乗り込んだ

COCOROOMにころころ翔ける心意気

その天井をどける！
と、誰が言ったかわからないか。
バカスカ走る43号線を左に折れたら、あたし萌えます。
青く、透き抜けた空を見たいから。
今日もここに来る。
声とことばで、何ができると言うのかしら。
むか~しから、あるからね。
擦りきれちゃってるからね。
やりがいもあるうってもんさ。
ころろにことば、届けましょ。
ぽえ犬織って、届けましょ。
枯れ木に花は咲くかしら？
多くの人の手で、油まみれだった部屋が少しづつピカピカ
になってゆく。不思議な縁だよ、ココルーム。
余計な自意識が邪魔なら、
とっばらっちゃうのもええかもよ。(コラ！)

ココルームスタッフ 丘田イージマン

内臓エレベーター

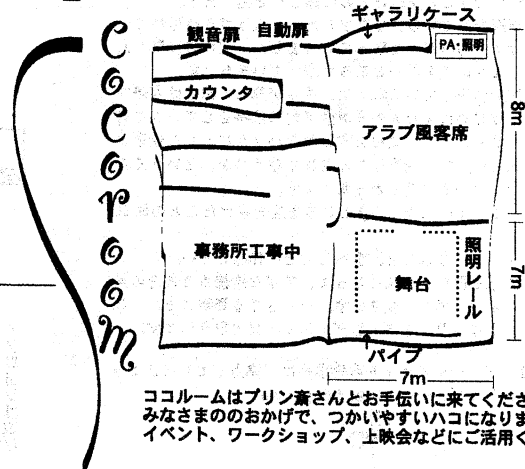
まだ虫の羽音が
額にかかる髪にまで
まとわりつくような夜に
闇のしずかな息が懐の
熱帯の野生獣を眠らせているころ
* 女の背中
夜の砂に降る雨の跡だ
* つぎの朝には
ひらがなが増える
* 背中
およぼしているよ
いちはやい
解決をのぞんでいますか
いまここで



名前: ぽえ犬
生まれ: 大阪
居住地: フェスティバルゲート ココルーム
年齢: 太陽に聞いて
趣味: おさんぽ
好きなもの: おひるね みずたまり ラムネ
職業: ココルームの看板

NPO準備委員会

cocoroomでは、アーティストと社会をつなぐ組織づくりを目指し、
NPO準備委員会を発足いたしました。
声とことばをキーワードに、一年後の法人格取得を目指しだいま奮闘中。
当委員会を発足するにあたり、ご賛同いただける方、企業、団体、アーティスト等、各
位様のご協力を募らせていただきます。
ご質問・お問い合わせは、代表/小川賢治まで→wogakingogaking@yahoo.co.jp



ココルームはプリン斎さんとお手伝いに来てくださった
みなさまのおかげで、つかいやすいハコになりました。
イベント、ワークショップ、上映会などにご活用ください。

大切なものは、目に見えないから



新作アルバム批評「あなたの上にも同じ空が」 美のM・S

詩集ではなく、CDをつくる詩人

上田假奈代

最近でこそ、詩人の朗読CDをみかけるようになったが、詩人といえば詩集をつくるものと思われている。わたしにとって、詩のはじまりは詩集だったし、身近な詩人である母親は3冊の詩集をだしている。ところが、詩人歴30年のわたしはカセットやMD、ビデオ、CDなどは作ったが、詩集を作ったことがない。どうして詩集をださないのか、と尋ねられるのだが、同じ資金を用意して作品をつくるのであれば、音源をつくりたいと思ってしまふのだ。

瞬間の、きりとりを詩のことはするものである。それを朗読する声は、ぬきさしならない。それを発する人のすべてを、声はあらわしている。声は呼吸だから。呼吸は生きること。よい呼吸はよい人生に宿る。よい人生には、適切なことばを選ぶ意識が必要である。

さて、詩のことを「テキスト」と呼ぶ慣わしは、朗読という提示によって生まれたように思う。それまで、詩は「詩」だった。他人にどう思われてもしようがないと思っているが、今でもわたしはテキストをよむ朗読者ではなく、詩をよむ詩人でありたい。そして、このCDが詩集とおなじように、ひとりからひとりへ届けられることを願う。

暮るならこの空に
あたしはヒグコ

遠く詩
主要シーン

あなたの上にも同じ空が

水曜のメモリー

それぞれの人生は、はじまってしまうものなんよ

聴いていてひかかったのは、最初（「暮るならこの空で」と最後（「それぞれの人生ははじまってしまうものなんよ」）。假奈代さんの詩は、どことなく一歩退いていると、感じさせる。退いたところに差し出され、とらえられるのを待つ言葉とその意味。声の調子は、やわらかく、やさしく、聴く者を包みこもうと待ち構えている。踏み込んでくる、情念の発散はあんまり感じられなくて、だから、物足りないとも感じる。でも、その中にある折時の言葉が、こちらのところからまわって、印象を残す。強烈だから、というよりはむしろ、さりげないからかえって印象的、というような。

《何を残せたんだろう 2002年のこの夏に》。これは、「それぞれの人生ははじまってしまうものなんよ」の第二部の終わりにおいて発される。CDには収録されてない。けれど僕には、この一文がとても印象的だった。ここにこのCD全体の核心を見ようとするのは、恣意的に過ぎるだろうか。妥協も、安易な解決も求めようとならない者の横断が行き着いたのは、徒勞感だった・・・言い過ぎだろうか。棘の無い空虚、開けっぴろげな自棄、聴いていて、そんな感じがした。

このCDについては、次のように言うことができるだろう。すなわち、《明日の天気も予想できないまま》《いまさらひきかえすこともできない》状態が常態となりかねない、そんな時代を生きて、率直に見つめようとした者の、詩という、今や不毛となりかねない領域に留まり、精一杯の抵抗を試みた成果であると。それは、空虚感漂う、徒勞の成果なのかもしれない。けれどそれは、少なくとも、時代との繋がりや欠いたところに発される、空疎感とは異なると、付書しておくべきかもしれない。

today's 3/365

「まかしとき、考えとくわ」

採取場所：ココロームの自動扉前
採取日時：2003年4月29日
なかなか気温がいい台詞。自分で考えなくちゃいけないことを人に話して、期待していないのに、こんな返事をもらえると嬉しい。ダイコンに柚子味噌がおいしいようにね。

現場のホースさばき/甲斐賢治さんインタビュー

CD『あなたの上にも同じ空が』の発売元である(有)インテラスディック社の甲斐さん。催したい合間の時間をいただき、上田假奈代も同席し、フェスティバルゲート2Fモスバーガーで突撃インタビューを試みた。コーヒーに砂糖を2つ、かき混ぜながら甲斐さんは「ことばを生業にする假奈代さんのことは、重要な仕事をされていると知っている。なぜなら、人の考えるという行為に、ことばは重要だから。マスメディアが発達している現代の状況の中で、そんな簡単なことを気付かせるアクションをする人として、その仕事には、とても大きな意味があると思う」と端的に述べてくれた。上田は頷きながら「わたしの仕事の本質をよくわかってくださっていて、このCD制作チームは信頼関係がきちりあってとても嬉しいことだったの」と答えた。

チームのなかでも、甲斐さんの仕事は「假奈代さんが花で、水をやる人もいて、僕の仕事はそのホースさばきみたいなもの」と、目に見えない仕事を引き受けたことが伺える。彼女のリズムを尊重すること、彼女の決定をとにかく待つことをこころがけたそうだ。

当初、このCDはCD-ROMとして映像なども盛り込まれた作品になるはずだったが、制作過程で、朗読CDに変更することになった。それらの決定も、上田の意志が固まるまでじっくりと待ってもらったようだ。

また、このCDの位置付けについて、甲斐さんは「假奈代さんが凄味を身に付けていく過程として、今回のCD制作という出来事があったのではないかな。凄味を増していくためのピース。そのあたりにこの仕事に関わるこの意味を意識した」とのこと。アーティストとして尊重されたことが、CD全編に流れる安定感につながっているのだろう。

ところで、まだCDを聴いていないと言う甲斐さん。「詩の朗読は、ひとりで聴くものだと思う。假奈代さんのことばに向かいあうのに、少し恐さを感じている。ことばって、裝飾しているとバレルでしょ。上すべりしていないことばが聞こえてきたら、動けなくなりそう」上田は「動けなくなるくらい本気のことばを、わたしは声にしていくのが仕事なのね。ほんとはキャベツのよく青つCDにしたいのになあ」と、ハンバーガーをがぶりと喰んだ。

03年4月27日取材：丘田イーゾマン

上田假奈代のぼえ茶会



「日常キモノ着付け教室」が、いよいよはじまった。キモノとお茶と詩と朗読がチャムルー（ごちゃ混ぜ）の時間である。第1回入門編は4月19日実施。キモノの格や種類、予備知識の購置。7名が参加。レジメをもとに、実物を見せながら説明する。抹茶といちごシュークリームを休憩に挟んで、畳み方をひとりづつお稽古。最後に「詩の朗読も聞いてください」と、春らしい詩を朗読しておしまい。

2回目買い出しツアーは、4月末、本町の呉服屋さんで。日程調整して2チームに分かれて実施。お道具と練習用のキモノと草履を購入。だいたい、ひとり15,000円くらいの出費となる。キモノを選び、それにあった半幅帯、半襟をみつける。ひとりひとり似合う色合いがあって、付き添っているわたしまで嬉しくなってくる。

ココロームに戻って、半襟を縫い付ける。針と糸をもち、だんだん口数も減って、縫い物をしている様子は、愛らしいと思う。それぞれのリズムがあるのだから、手が遅いからといって気にしないで、と言う。

縫い物が好きか、と問われれば、嫌いではないけど、好きでもない。

針に一本の糸を通すその瞬間、何かを突き抜けていく感覚がある。か細くも途切れない、何かを信じる力を思い起こさせてくれる、ような気がするのだ。

ことばを紡ぐ、という。紡ぐのは糸だ。暗闇の一点を光のほうへ突き抜けてゆく。



■ワークショップ・声
5/12、19、26(月)、6/3、10、17(火)
20:00~ ¥1,000
楽しく真剣な声についての実践と試行錯誤
ノンジャンル参加資格制限無し! 1回完結!!
講師: 門田剛 (officeHAKUA)
→ officeHAKUA (09082152925/fax:06-6350-5226
kadotatakesi@ezweb.ne.jp)

■詩のオーケストラ@ワークショップ
5/10、24 6/14、28 すべて土曜
19:00~ ¥1,000
わー、ストレス発散になったわあ、と参加者の感想。
ことばと声は、こころのストレッチなのですね。
講師: イージマン
→ イージマン (ezman@nifty.com)

■上田假奈代のぼえ茶会vol.3「モノと時と朗読」
6/21土 19:00~ ¥1,500 (お茶とお菓子つき)
日常着用着付け教室のあとには、
オープンマイクイベント 出演者募集中!
→shitacocoro project (info@kanayo-net.com)

■ぼえ犬わん
5/31土 19:00open 19:30start ¥3,800 (CD付)
cocoroomオープニングパーティ
+上田假奈代レコライブ「あなたの上にも同じ空が」
後援: キリンビール
コルムのお披露目パーティです。代表をつとめる上田假奈代入
魂の朗読CDのレコライブ「あなたの上にも同じ空が」CDつき。
→APM (info@kanayo-net.com)

womens-performance-art-osaka
http://www.womens-performance-art-osaka.jp officeHAKUA
FESTIVAL 詩のオーケストラ
http://www.kanayo-net.com/si_oke/index.html http://www.kanayo-net.com

■「わたしとパレスチナの距離
セクシュアルマイノリティーとしての経験から」
5/17(土) 15:00~18:00 ¥1,000 (お茶付き)
トーク: 日比野真 (フェミ系クィア・アクティビスト)
ナビゲーター: 中西美穂 (フェミ系アーティスト) 上田假奈代 (詩人)
私は2002年6月にパレスチナに行き、国際連帯運動 (ISM) の非暴力直接行
動に参加しました (そして残念ながらイスラエル軍に逮捕され、国外強
制退去処分を受けました)。 (略)
アイデンティティーや属性、組織や集団の都合から話を始めるのではなく、
あくまで個人一人一人の生き方から始める ISMのやり方は、セクシュアル
マイノリティーの社会運動の中で私が考え大切にしてきたことと、とても
共通していました。そしてこういったアプローチこそが、「民族が争点に
なっている」と思われているイスラエル/パレスチナの問題を解決するた
めには有効なものではないでしょうか。 (略) 日比野真
主催: 下心プロジェクト+women's-performance-art-osaka
→shitacocoro project (info@kanayo-net.com)

「walk around!」 Paragraph #2
声を巡るお散歩の二回目です
こえ・あなたののどもとからうまれからだでひびき
わたしにとどく・こえ
声は気持ちいい・かすかにやさしい空気のふるえ・からだにビリビリの
カラオケや・風呂場の鼻歌や・遊園地の絶叫や・恋人のささやきや
朝一番の挨拶や・大舞台での表現や・夜のあざさや・満足の溜息
声を出すことが気持ちいい・声を聞くことが気持ちいい・心地よい振動が
以前に文字を音読する時、からだか気持ちよくなる体験をしましたか?
それがどんな文章であれば、気持ちよく読んでみたいと思えますか?
たとえばからだか健康であれば、良い声が出せますか?
とても良い気分の中には、とても素敵な声が出せるのでしょうか?
「おはよ」「元気したった?」「うん、そやね」「そのとおりやで」
「なあ」「あなたのことがとても好きです」
「すっごく愛してるねん」「ん・・・」
「ありがとうおな」「ほんま感謝してんで」「ほんならな!」「またね!」
声について考えていたら、いつのまにか、生きていくことを考えます
ワークショップ・声 かどたたくし/officeHAKUA/創作+舞台演出+俳優

cocoroomでは、寄付をつのっています
03年5月から始まるcocoroomでは、立ち上げ及び運営管理のための
寄付をつのっています。ご寄付いただいた方には、
お名前を「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。
5,000円/1口 何口でも結構です。
田中乗子さん、前幡子さん、
野中遼子さん、同人「遊」、
上田芳美さんより
寄付をいただきました
ありがとうございます
振込先
●三井住友銀行 船場支店 普通 2140440
cocoroom代表 ウエダカナヨ
●郵便振替
記号01090-5-48059
cocoroom代表 ウエダカナヨ
COCOROOM

COCOROOM
コルムを有効に
つかって勉強会や
ワークショップ、イ
イベントを企画したい
人を応援します。
お問合せください。
→cocoroom
@kanayo-net.com
R26 堺筋 谷町筋
R43
地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」
5番出口から直結連絡
大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
JR環状線・関西線「新今宮駅」東出口すぐ
南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」東出口すぐ
阪堺電軌鉄道「南殿町駅」すぐ http://www.sap-s.jp

■詩の学校 (應慶院校) ポエム道場
5月7日・21日
6月4日・18日 すべて水曜 19:30~ ¥1,000
講師: 上田假奈代
應慶院 http://www.outenin.com
大阪市天王寺区下寺町1-1-27 tel.0667717641
■【星の市場】詩の学校 (天人校) 朗読道場
5月25日 6月22日 すべて日曜日15:00~ ¥1,000
講師: 上田假奈代
AMANTO天人 http://www.yura-ism.com/amanto/i/
大阪市北区中崎西1-7-26 tel.0663715840
■詩の放課後
5月8日・22日
6月5日・19日 すべて木曜日 19:00~ ¥1,000
講師: 上田假奈代
芸術センター http://www.kac.or.jp
京都市中京区室町通錦薬師下 山伏山町546-2
tel: 0752131000(代) fax: 0752131004
kacinfo@kac.or.jp

■丘田イージマン
& 詩のオーケストラ
「夏のことば」
6月27日(金) 19:00open 20:00start
¥2,000 1ドリンクつき
会場: チャクラ
大阪市北区豊原町6-12
Tel: 06-6361-2624
問合せ: ezman@nifty.com
豪華ゲスト陣も参加予定!

お詫びと訂正
前号の録音康雄さんインタビューのなかで
NPO/Bridgeと表記いたしました。が、
NPOの名称は「ビヨンドイセンス」です。
関係各位と読者のみなさまに
お詫びいたします。

編集後記: トンネルを抜けたら、夏だった。
山は太陽に嫉妬させるほどに萌えて、過呼吸のように泡立つ。
息苦しくなりはじめた夜は、まぐらの傍らに詩集を置く。
こうして眠れない夜をすぞわたしがついて、眠れないどこかの夜に
いるあなたのことを思ったとしても、頁を繰ることしかできない。
行間に、語られなかったことばをみつけて。
時は、ひとりからひとりへ届けられる。 よい夏を。(U)

zip556-0002 COCOROOM
大阪市浪速区恵美須東3丁目4番36号
フェスティバルゲート4F cocoroom
tel&fax 06-6636-1662 *5/23開通
http://www.kanayo-net.com/cocoroom/
●ぼえ犬通信がメルマガになりました●
上記URLからご登録ください

APM Shinsekai Arts Park
www.kanayo-net.com
8F Bridge
4F cocoroom
4F remo
3F ArtTheater dB
FESTIVAL GATE
SPA WORLD
BUS STOP
ENTRANCE
PARKING ENTER
*cocoroomは、4F remoのおとなりです